

# 茶話

SAWA

日本茶インストラクター  
協会熊本県支部会報  
平成17年6月15発行  
第2号

## 女性部「肥後茶女」

ひごさめ

### 活動開始

熊本県支部に於ける話題の一つ、女性部の発足と活動の開始が挙げられると思います。

女性会員が増えたのをきっかけに、以前より温められてきた構想、女性部が発足しました。名付けて「肥後茶女」、活動を開始して早二ヶ月余り、ホームページも開設され、既に活動も幾つか実施されています。球磨地方の茶園視察や工場見学、茶の歴史や文化などの研修を通して造詣を深められているようです。女性部長は八千代さん。また、森山さんは自身のインターネットサイトにページを開設し、運営管理されています。今後の事業計画はホームページに掲載されており、参加者もページ上で募集されています。今回、八千代さんに今後の活動について寄稿していただきました。なお、

「会員短信」のコーナーでは、ホームページ管理人、森山さんに寄稿いただいております。活動報告 八千代洋子

以前から女性部を作りたいという希望がありました。女性どうして協力・共感できたらと考へ、肥後茶女は誕生しました。女性らしさ(ジェンダー)の問題もありますが、あえてを活かしたインスタラクションで楽しく元気になる活動を目的としています。メンバーは、それぞれパワフルで魅力的です。私が初代部長になったのは年の功ですが、素晴らしいメンバーと楽しみながらやっていけたらと思っています。

### 第一回研修会(3月26日)

(有)サンティの茶工場見学は、茶工場の中を案内してもらい、インスタ講座の教科書で知った事を現実を目にし、とても勉強になりました。また、九州茶品評会一等一席の茶も試飲しました。とてもおいしかったのは言



うまでもありません。ビジュアル系インスタお二人に淹れてもらい、警沢なお茶の時間でありました。また、美しく続く茶畑の見学では、今年の新茶は何時になるのか等お話を伺ったり、防霜ファンを回していただいた。その音と風を体験したりしました。天気も良く、爽やかなひとときでした。

次に訪れた立山商店での研修は、ひと言で「温故知新」、古いものが大切に守られてきた街並みや店舗に、とても新鮮な感動を受けました。お雛祭り期間中で観光客も多く、街づくりの大切さも感じました。皆様にいるお世話いただき、お陰様で有意義な一日を過ごしました。

### 日本茶講座(5月7日)

お茶とお花のコラボレート教室を宇城市松橋町にて開きまし

た。森山・野村両名が担当しました。プリザードフラワー作りと、五種類の新茶を楽しみ、参加された方々には大変喜んで頂きました。

肥後茶女は、今後も研修会の実施など積極的に取り組んでいきます。只今、玉露の里星野村見学、福岡県の女性インストラクターの交流会など予定しています。きつと新しい発見がある事でしょう。何事にも興味を持ち、明るく元気に日本茶の素晴らしさについて情報発信をしていきたいと思っております。皆様のご協力の程よろしく願います。

### 高瀬蔵で日本茶講座(花組)

去る五月二十二日、猿渡さん率いる花組の日本茶講座が、玉名市にある高瀬蔵(玉名市が中心市街地活性化法に基づき旧商家を修復したもので、木造二階建て延べ約800平方メートル。約二百人を収容できるイベントホールや飲食店三店舗、展示スペースなどを備える施設)に於いて開催されました。

この講座は一回目も予定されており、参加協力者も募集されています。詳しくは猿渡さんまたは事務局まで。活動の様子や次回の予定については、次頁「活動報告」に猿渡さんに執筆いただいております。

### 事務局の勝手にコラム

お茶講座を終えると大きな拍手、その心地良さが何ともし難くありません。お茶についての情報を少しばかり披露するだけで、なぜか凄く感謝していただきます。この快感が講座を行う原動力になっています。

でも、初めて講座を開こうとしたとき、何をどのようにしたらよいか分かりませんでした。協会が作成したビデオや先輩の講座に参加して、進め方や雰囲気や学べる今日とは違いました。だから、東京の繁田和則さんが「お茶の達人道場」という講座を定期的に開催されていると聞き、ビデオを抱えて参加させていただいた次第でした。

あれから五年、私は講師やアシスタントとしてまだ60数回の講座を経験したにすぎません。ただ回を重ねる毎に、自分が講座を楽しんでいると自然と受講者にも楽しんでいただけると分かりました。

そして講座に臨むことにより、少しずつかもしれませんが知識が増え、技術が向上しているようです。こうして学んだ知識や技術に沢山の方が喜んでくださる、インストラクターとはなんと素晴らしい活動ではないでしょうか。

# インスタト豆知識

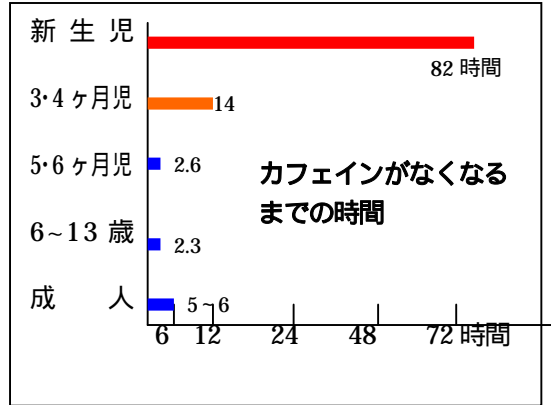
## 赤ちゃんにお茶って大丈夫だろうか？

今回は、赤ちゃんとお茶について考えてみます。緑茶成分の中で、赤ちゃんや妊婦にとって一番懸念されるのが、「カフェイン」です。カフェインには、血管を拡張し、血液の循環を良くする。

腎臓に働き利尿作用があり、心臓病によるむくみを除く。消化液の分泌を良くする。中枢神経を刺激し、脳の働きを活性化させる。肝臓に対する薬の効果を高める。

高血圧症からくる頭痛の治療に効果がある。

など有用な成分なのですが、問題になるのは赤ちゃんの身体に取り込まれたカフェイン代謝能です。カフェインが体内で代謝されるのに要する時間は、年齢



自然界究極の比率、それは「1対1・618」！

### ティータイム

皆さんは黄金比またはフェボナッチ数列という言葉を聞かれた事ありますか。「1対1.618」というものですが、この比率で出来た長方形を、ヨーロッパでは古くから最も美しい形とされてきました。この比率で出来ているものは、ルブル美術館のミロのビーナス、パリの凱旋門、ギリシャのパルテノン宮殿など。でも、この比率で出来たものはこれだけでなく、身近ではマンガ本やクレジットカード、名刺などあります。オス・メスの割合、人体にまでもこの比率が適用されるか。ちょっと興味深い比率ですよ。

75 mgです。但し、玉露など濃く出して飲むお茶は90 mgと多量になります。

若いお母さんの中には、ドラッグストアで買ったペットボトルの茶を、そのまま哺乳瓶に入れて飲ませるといった話もあります。教科書の「出がらしの茶湯を人肌で冷まして」で本当に大丈夫なのか？議論すべきでしょう。

### 活動報告

#### 高瀬蔵で日本茶講座を開催

花組 猿渡明洋

高瀬蔵の改修に伴いNPO法人が設立され、文化部会マイスタークラブの一事業として日本茶講座を引き受けました。私自身、初めて講座を主催するので、資料作成と会場設営に奮闘しました。何度モインスタラクター講座の資料やビデオを見直し、初心に帰ることができて良い刺激となりました。

当日の講座は、インスタラクターとアドバイザー8名、参加者は14名でしたが、お蔭様で終始笑いが絶えないアットホームな雰囲気で大成功でした。参加者からも「楽しかった・来て良かった」との声を聞け、お茶に対して興味を増していただけかと思えます。また2回目を6月25日に開催しますので、多数の参加をお待ちしております。



### 会員短信

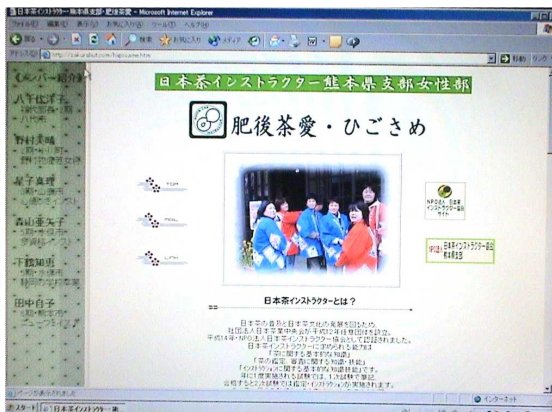
HP ぴいあーる 森山亜左子

皆様の支持とご支援によって肥後茶愛が発足いたしました。いまや情報発信ツールのHP(ホームページ)。独立独歩を標榜し県支部と別箇に設けました。とはいももの経済的に自立していないので、当面、私のホームページに居候しております。

昨年度より支部ではグループ別ワークショップが実施され、活動も充実しつつありますが、加えての女性部発足は、活動に深みを増すと確信しております。考慮する点はグループ活動との差別化ですが、足かせをはめすぎると身動きがとれなくなりません。(女性らしい活動と書くこと

ジェンダーの問題もありますので)メンバーが少ない点を活かして、スタート三年間はとにかく動き、軌道修正しながらのチャレンジ期間と考えております。というわけで、沢山の参加を切望しております。

HPに年間活動の掲載もあります。もちろん男性・アドバイザーも大歓迎！肥後茶愛ページよりQRコード送信できます。参加のご希望あれば決定次第詳細を返信させていただきます。今後とも「肥後茶愛」をよろしく願います。



《編集後記》 前回同様 戴いた原稿を思いっきり編集、ダイジェストで記載しました。なぜって、たくさん書いて頂いて、入りきらないのです。すいませ〜ん。第二号にして増刊号を予定。お楽しみに…。